

GlutenTox Sticks Plus

KIT3005

編集日: 05.11.2021

部品表

物質名	特定名	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
UGES Extraction Solution	内部コード ASY3028 ASY3036 ASY3040 ASY3191 ASY3192	Flam. Liq. 2 / H225 Eye Irrit. 2B / H320 Carc. 1A / H350 Repr. 1A / H360 STOT RE 1 / H372	 	2 - 15
Dilution Solution	内部コード ASY3037 ASY3010 ASY3012 ASY3039 ASY3189 ASY3193			16 - 27
Positive Control	内部コード ASY3052			28 - 35
Negative Control	内部コード ASY3051			36 - 44

UGES Extraction Solutionバージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第1節：化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名

UGES Extraction Solution

他の名称

UGES Extraction Solution GlutenTox ELISA, UGES Extraction Solution GlutenTox Pro, UGES Extraction Solution GlutenTox Home, UGES Extraction Solution GlutenTox Sticks Plus, UGES Extraction Solution GlutenTox Sticks Plus for Reader

製品コード

ASY3028, ASY3036, ASY3040, ASY3191, ASY3192

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途

研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称Hygiena International
8 Woodshots Meadow
Herts Croxley Park
イギリス電話番号: +44 (0) 1923 818821
FAX番号: +44 (0)1923 818825
メール: customerserviceuk@hygiena.com
ホームページ: www.Hygiena.com**1.4 緊急電話番号**

緊急時情報提供

+44 (0) 1923 818821
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 09:00 - 17:00**第2節：危険有害性の要約****2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
2.6	引火性液体	2	Flam. Liq. 2	H225
3.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	2B	Eye Irrit. 2B	H320
3.6	発がん性	1A	Carc. 1A	H350
3.7	生殖毒性	1A	Repr. 1A	H360
3.9	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	1	STOT RE 1	H372

省略の全文：第16節を参照。

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状

短期及び長期ばく露からの遅発及び急性影響が予想される。製品は可燃性であり、潜在的発火源の接触で発火しうる。

2.2 ラベル要素

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

表示

- 注意喚起語

危険

- 絵表示

GHS02, GHS08



- 危険有害性情報

H225

引火性の高い液体および蒸気.

H320

眼刺激.

H350

発がんのおそれ.

H360

生殖能または胎児への悪影響のおそれ.

H372

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 (肝臓).

- 注意書き

P202

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと.

P210

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること. 禁煙.

P233

容器を密閉しておくこと.

P240

容器を接地すること/アースをとること.

P241

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること.

P242

火花を発生させない工具を使用すること.

P243

静電気放電に対する予防措置を講ずること.

P260

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと.

P270

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと.

P280

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること.

P303+P361+P353

皮膚 (または髪) に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと.

P305+P351+P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること.

P308+P313

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること.

P314

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること.

P337+P313

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること.

P370+P378

火災の場合：消火するために砂、二酸化炭素または粉末消火器を使用すること.

P403+P235

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと.

P405

施錠して保管すること.

P501

内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示

エタノール

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)

3.2 混合物

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	75 - < 90		
エタノール	CAS-番号 64-17-5	10 - < 25	Flam. Liq. 2 / H225 Eye Irrit. 2B / H320 Carc. 1A / H350 Repr. 1A / H360 STOT SE 3 / H335 STOT SE 3 / H336 STOT RE 1 / H372	
L-Arginine monohydrochloride	CAS-番号 1119-34-2	5 - < 10		
Domiphen bromide	CAS-番号 538-71-6	< 0,1		
TCEP	CAS-番号 51805-45-9	< 0,1	Acute Tox. 5 / H303 Acute Tox. 5 / H313 Skin Corr. 1 / H314	

省略の全文：第 1 6 節を参照.

第 4 節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

UGES Extraction Solutionバージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第5節：火災時の措置**5.1 消火剤**

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

換気が不十分な際、及び／又は換気中は可燃性/引火性空気と蒸気の混合物が発生する可能性。溶媒蒸気は空気より重い為、床レベルで広がる特性を持っている。換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性/引火性物質や混合物が存在する傾向がある。

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)**5.3 消防士に対するアドバイス**

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置**6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法**

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること (雑巾、フリース等)。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。着火源を避けること。発火源から離して保管—禁煙。静電気放電に対する措置を講ずること。よく換気された場所で使用すること。爆発の危険性のため、蒸気が地下、送気管や水路に流出しないのを防ぐこと。容器を接地しアースを取ること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。

- 特殊な注記/明細

換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性/引火性物質や混合物が存在する傾向がある。蒸気は空気より重いため、床に近い所で広がり、空気と交わって爆発性混合物を生じる。蒸気は空気と交わると爆発性混合物を生じる可能性がある。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 爆発性

器を密閉し、換気された場所で保管。局所及び全体換気を使用すること。涼しいところに置くこと。日光から遮断すること。

- 燃焼危険性

発火源から離して保管—禁煙。熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。静電気放電に対する措置を講ずること。日光から遮断すること。

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

- 換気要求事項

局所及び全体換気を使用すること。容器を接地しアースを取ること。

- 輸送容器の適合性

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能。

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	DNEL	668,2 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性—全身的作用

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

混合物の成分の関連するDNEL						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	DNEL	947,5 mg/kg 体重/日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	PNEC	2,2 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	PNEC	0,22 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	PNEC	12 g/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	PNEC	4,437 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
L-Arginine monohydrochloride	1119-34-2	PNEC	0,444 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点/凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	64,7 °C では 1.013 hPa
引火点	9,7 °C では 1.013 hPa
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)

爆発限界

- 爆発下限界 (LEL)	2,5 vol%
- 爆発上限界 (UEL)	13,5 vol%

蒸気圧	169,3 hPa では 25 °C
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール/水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
----------------------------	--------------

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

自動着火温度	455 °C (auto-ignition temperature (liquids and gases))
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

溶媒容量	91,47 %
固形分	8,531 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に、当該混合物は反応性物質を含んでいる。発火の危険性。

熱せられた場合:

発火の危険性

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

火災や爆発を避けるための手引き

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

第 11 節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

UGES Extraction Solutionバージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

GHSに基づいた分類**急性毒性**

急性毒性として分類されない。

混合物の成分の急性毒性推定値(ATE)

物質名	CAS-番号	ばく露経路	ATE
TCEP	51805-45-9	経口	3.500 mg/kg
TCEP	51805-45-9	経皮	3.000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼刺激を生じる。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がんのおそれ。

生殖毒性

胎児への悪影響のおそれ。生殖能への悪影響のおそれ。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

長期にわたる、または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害。

危険有害性区分	標的臓器	ばく露経路
1	肝臓	ばく露がある場合
2	中枢神経系	ばく露がある場合

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

12.4 土壌中の移動度

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

溶剤の回収利用／再生.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたコン包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第 1 4 節：輸送上の注意

14.1 国連番号

UN RTDG	UN 1170
IMDGコード	UN 1170
ICAO-TI	UN 1170

14.2 国連出荷名

UN RTDG	エタノール
IMDGコード	ETHANOL
ICAO-TI	Ethanol

14.3 輸送時の危険性クラス

UN RTDG	3
IMDGコード	3
ICAO-TI	3

14.4 容器等級

UN RTDG	II
IMDGコード	II

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

ICAO-TI	II
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない
14.6 使用者のための特別予防措置	
追加情報がない。	
14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送	
荷はバラ積み輸送に適していない。	

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

国連番号	1170
クラス	3
容器等級	II
警告表示ラベル	3
	
特別規定 (SP)	144 (UN RTDG)
適用除外 (EQ)	E2 (UN RTDG)
少量危険物 (LQ)	1 L (UN RTDG)

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

海洋汚染物質	-
警告表示ラベル	3
	
特別規定 (SP)	144
適用除外 (EQ)	E2
少量危険物 (LQ)	1 L
EmS	F-E, S-D
積み込みカテゴリー	A

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

警告表示ラベル	3
	
特別規定 (SP)	A3, A58, A180
適用除外 (EQ)	E2
少量危険物 (LQ)	1 L

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第15節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AICS	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
JP	ISHA-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
ISHA-ENCS	既存化学物質および新規化学物質のインベントリ (ISHA-ENCS)
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
ATE	Acute Toxicity Estimate (急性毒性推定値)
Carc.	発がん性
CAS	化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関)
DGR	危険物規則書 (IATA/DGR参照)
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
EmS	救急スケジュール
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
Flam. Liq.	引火性液体
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	危険物の航空安全輸送に係る技術指針
IMDG	国際海上危険物規則
IMDGコード	国際海上危険物規程
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約 (略：海洋汚染防止条約)
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
STOT SE	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

UGES Extraction Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

関連する警句のリスト (項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載)

コード	文
H225	引火性の高い液体および蒸気.
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H313	皮膚に接触すると有害のおそれ.
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷.
H320	眼刺激.
H335	呼吸器への刺激のおそれ.
H336	眠気またはめまいのおそれ.
H350	発がんのおそれ.
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ.
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 (肝臓).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

Dilution Solutionバージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第1節：化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**

商品名

Dilution Solution

他の名称

Dilution Solution GlutenTox Pro, Dilution Solution GlutenTox Pro Surface, Dilution Solution GlutenTox Pro Surface Fast, Dilution Solution GlutenTox Sticks Plus, Dilution Solution GlutenTox Sticks Plus for Reader, Dilution Solution GlutenTox Home

製品コード

ASY3037, ASY3010, ASY3012, ASY3039, ASY3189, ASY3193

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途

研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称Hygiena International
8 Woodshots Meadow
Herts Croxley Park
イギリス電話番号: +44 (0) 1923 818821
FAX番号: +44 (0)1923 818825
メール: customerserviceuk@hygiena.com
ホームページ: www.Hygiena.com**1.4 緊急電話番号**

緊急時情報提供

+44 (0) 1923 818821
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 09:00 - 17:00**第2節：危険有害性の要約****2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 01.07.2021

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	≥ 90		
Sodium Chloride	CAS-番号 7647-14-5	1 - < 3		
Tris HCl	CAS-番号 1185-53-1	1 - < 3		
Tween 20	CAS-番号 9005-64-5	1 - < 3	Acute Tox. 5 / H333 Aquatic Acute 3 / H402	
EDTA disodium dihydrate	CAS-番号 6381-92-6	0,1 - < 1	Acute Tox. 5 / H303 Aquatic Acute 3 / H402	
Polyvinylpyrrolidone	CAS-番号 9003-39-8	0,1 - < 1		
Sodium Hydroxide	CAS-番号 1310-73-2	< 0,1	Skin Corr. 1 / H314 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第16節を参照。

第4節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医師の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医師の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 01.07.2021

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策
局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：
霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）

国	物質の名前	CAS-番号	特定名	OEL-M [ppm]	OEL-M [mg/m ³]	STEL [ppm]	STEL [mg/m ³]	OEL-C [ppm]	OEL-C [mg/m ³]	注釈	出典
JP	水酸化ナトリウム	1310-73-2	OEL						2		JSOH

注釈

OEL-C 天井値とはばく露が超えてはいけない限界
OEL-M 時間加重平均（長期ばく露）：参考期間8時間の時間加重平均で測定あるいは計算
STEL 短期ばく露限界：他に特定さない場合、参考期間15分内で超えてはいけない限界

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	152,8 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	216,6 mg/kg 体重/日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	DNEL	1,5 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	DNEL	3 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－全身的作用
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	DNEL	1,5 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	DNEL	3 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－局所的作用

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium Hydroxide	1310-73-2	DNEL	1 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Tween 20	9005-64-5	PNEC	0,2 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Tween 20	9005-64-5	PNEC	0,02 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Tween 20	9005-64-5	PNEC	1,141 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Tween 20	9005-64-5	PNEC	1.000 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	PNEC	2,5 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	PNEC	0,25 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	PNEC	50 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	PNEC	1,1 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	≥225 °C では 1.013 hPa
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)
蒸気圧	0 Pa では 20 °C
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

9.2 その他の情報

溶媒容量	94,66 %
固形分	5,343 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

第 11 節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

混合物の成分の急性毒性推定値(ATE)			
物質名	CAS-番号	ばく露経路	ATE
Tween 20	9005-64-5	吸入：蒸気	25 mg/l/4h
Tween 20	9005-64-5	吸入：ダスト／ミスト	>5,1 mg/l/4h
EDTA disodium dihydrate	6381-92-6	経口	2.800 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報

12.1 毒性

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動度

データなし。

12.5 PBT と vPvB の評価の結果

データなし。

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない。

12.7 他の有害影響

データなし。

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

第 1 4 節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連出荷名	非該当
14.3 輸送時の危険性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない
14.6 使用者のための特別予防措置	追加情報がない。
14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送	荷はバラ積み輸送に適していない。

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外。

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外。

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

国	インベントリー	状況
AU	AICS	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	すべての成分が表示されていない
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性—短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性—長期間（慢性）有害性
ATE	Acute Toxicity Estimate（急性毒性推定値）
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

略	使用した略語の説明
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
JSOH	日本産業衛生学会 "産業衛生学雑誌": 許容濃度等の勧告
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約 (略: 海洋汚染防止条約)
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
OEL	許容濃度
OEL-C	天井値
OEL-M	時間加重平均
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
ppm	100万分の1
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STEL	短時間暴露限界
STOT SE	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

Dilution Solution

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 01.07.2021

関連する警句のリスト（項目2と項目3で記すコードと全文を記載）

コード	文
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷.
H318	重篤な眼の損傷.
H333	吸入すると有害のおそれ.
H370	臓器の障害.
H402	水生生物に有害.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 05.10.2021

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	Positive Control
他の名称	Positive Control GlutenTox Sticks Plus, Positive Control GlutenTox Sticks Plus for Reader
製品コード	ASY3052

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究所と分析用途
---------------	----------

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Hygiena International
8 Woodshots Meadow
Herts Croxley Park
イギリス

電話番号: +44 (0) 1923 818821
FAX番号: +44 (0)1923 818825
メール: customerserviceuk@hygiena.com
ホームページ: www.Hygiena.com

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供	+44 (0) 1923 818821 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 09:00 - 17:00
---------	--

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)

3.2 混合物

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 05.10.2021

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Oat Flour	CAS-番号 134134-86-4	10 - <25		

省略の全文：第 1 6 節を参照。

第 4 節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第 5 節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 05.10.2021

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 05.10.2021

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点/凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 05.10.2021

可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

溶媒容量	10 %
固形分	0 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 05.10.2021

第 1 1 節：毒性学的情報**11.1 毒性学的影响の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動度

データなし。

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 05.10.2021

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第 1 4 節：輸送上の注意

- | | |
|--|---------------------|
| 14.1 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 国連出荷名 | 非該当 |
| 14.3 輸送時の危険性クラス | 未特定 |
| 14.4 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 使用者のための特別予防措置 | 追加情報がない. |
| 14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送 | 荷はバラ積み輸送に適していない. |

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

Positive Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 05.10.2021

第15節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
CA	DSL	全成分はリストに記載されている
NZ	NZIoC	全成分はリストに記載されている

凡例

DSL Domestic Substances List (DSL)
NZIoC New Zealand Inventory of Chemicals

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名

Negative Control

他の名称

Negative Control GlutenTox Sticks Plus, Negative Control GlutenTox Sticks Plus for Reader

製品コード

ASY3051

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途

研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Hygiena International
8 Woodshots Meadow
Herts Croxley Park
イギリス

電話番号: +44 (0) 1923 818821
FAX番号: +44 (0)1923 818825
メール: customerserviceuk@hygiena.com
ホームページ: www.Hygiena.com

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供

+44 (0) 1923 818821
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 09:00 - 17:00

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)

3.2 混合物

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Corn Flour (Maicena)	CAS-番号 9005-25-8	10 - <25		

省略の全文：第 1 6 節を参照。

第 4 節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第 5 節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 20.09.2021

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点/凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え: (1.0)

改訂日: 20.09.2021

可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

溶媒容量	10 %
固形分	0 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

第 1 1 節：毒性学的情報**11.1 毒性学的影響の情報**

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報**12.1 毒性**

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動度

データなし。

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第 1 4 節：輸送上の注意

- | | |
|--|---------------------|
| 14.1 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 国連出荷名 | 非該当 |
| 14.3 輸送時の危険性クラス | 未特定 |
| 14.4 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 使用者のための特別予防措置 | 追加情報がない. |
| 14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送 | 荷はバラ積み輸送に適していない. |

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

第15節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国の規則 (日本)

既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)

全成分はリストに記載されている。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AICS	全成分はリストに記載されている
CA	DSL	全成分はリストに記載されている
CN	IECSC	全成分はリストに記載されている
EU	ECSI	全成分はリストに記載されている
JP	CSCL-ENCS	全成分はリストに記載されている
KR	KECI	全成分はリストに記載されている
MX	INSQ	全成分はリストに記載されている
NZ	NZIoC	全成分はリストに記載されている
PH	PICCS	全成分はリストに記載されている
TR	CICR	全成分はリストに記載されている
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	全成分はリストに記載されている

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

Negative Control

バージョン番号: 2.0
次のバージョンの差し替え：:(1.0)

改訂日: 20.09.2021

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約（略：海洋汚染防止条約）
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.